

女性の心、母親の心を市政に生かします!

日和田よしこ通信

新しい時代を、新しい力で! 新しい公明党です。



NEW KOMIETO
公明党

第3号

平成11年9月発行
●日和田よしこ後援会発行

公明の成果「少子化対策特例金」

各地で有効活用申し入れ

市町村の少子化対策を支援する「少子化対策臨時特例交付金」が一九九九年の補正予算に盛り込まれたのを受けて、公明党は現在、各地でその有効活用を求める申し入れを行っている。

熊本市

公明党熊本市議団(亀井省治団長)はこのほど、三約十五億円が交付されることになっており、同市の御

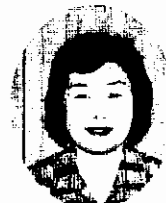
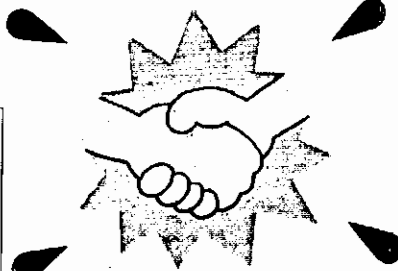
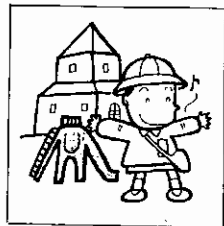


少子化対策で申し入れを行う公明党熊本市議団

厨一熊助役は「交付金を元に基金をつくって、三年間で活用。少子化対策の充実を図りたい」と答えた。同交付金は、駅前保育ステーションの設置や病後児の一時預かり場所の整備、幼稚園の預かり保育実施のための環境整備、チャイルドシート貸与事業などが対象。亀井団長らは特に、保育所での待機児童の解消策実施を強く要望。「保育所施設の拡充を図るとともに、それに伴う保育の充実を」と訴えた。

教育・福祉充実、障害者支援少子高齢化対策…

これから私が取り組む「仕事」



日和田敬子さん

ボランティア啓発が最重要課題
日和田敬子(公明党)
一任期中に取り組む課題は。日和田 ボランティア啓発を最重要課題にしたい。熊本は地方なのでいろんな人を地域の中に入れて一生輝らしていかなければならない。みんなが人に優しく

熊本市議会 新人議員に聞く

楽しく生活していくにはボランティア精神がないと地域そのものがうまく機能しない。理想論にはなるが、市民にボランティアの精神で様々な問題に取り組みでもらうと、何でもうまくいくと考える。議会活動を通して、ボランティアの啓発に取り組みでいきたい。

市議会では唯一の保母経験者だが、その経験をどう生かす。

日和田 将来の熊本を担う子供たちの教育が重要視される中、現場の経験者として、現場の声を確実に市政に伝えていきたい。

また、私の長男は重度の障害を持ち、保育園の入所や施設利用、学校への進学問題などで今まで歯がゆい思いをしてきたことがある。おそらく、障害児を抱える母親は私と同じ経験をしているはずだが、泣き寝入りするケースが多い。ハード、ソフト両面の整備を勧め、障害児と健常児がより分け隔てなく教育を受けられる社会の実現に向け努力したい。